



街を楽しもう!
さあ、西新宿へ。

ファンモアタイム新宿2023

10/13^{FRI} ~ 15^{SUN} 10:00から
17:00まで
(10/13は19:00まで)

西新宿エリア

(街路・ビル広場など)



ファンモアタイム新宿2023の実施状況

【目的】

西新宿再整備方針に基づき、新宿副都心4号街路を中心とした新宿副都心エリア内の公開空地（都民広場を含む）や車道を含む道路空間等を一体的に利活用し、多様な人々の滞在・交流を促進するための社会実験。

【実施内容】

- ① 車道を含む道路空間での賑わいイベント実施
13日(金)、14日(土) トランジットモール化
15日(日) フルモール化
- ② 都民広場の芝生広場化（10月4日～10月20日）
- ③ 新宿中央公園水の広場、都民広場、新宿住友ビル三角広場等でスマートシティフェスタ※を開催
※ 東京都デジタルサービス局主催
- ④ 関連イベントとの連携

【開催期間】 2023年10月13日(金)～10月15日(日)

【主催】 ファンモアタイム新宿実行委員会
(一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会)

【共催】 東京都 新宿区

【来場者数】 延べ約5万人



利用実態の調査を行い、その効果を検証。

- ① 交通量調査 (3頁) 【実施主体：東京都】
- ② 都民広場の芝生化：モニタリング及びアンケート調査 (4頁) 【実施主体：東京都】
- ③ 「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査 (5～7頁)
【実施主体：環境改善委員会】

1 交通量調査

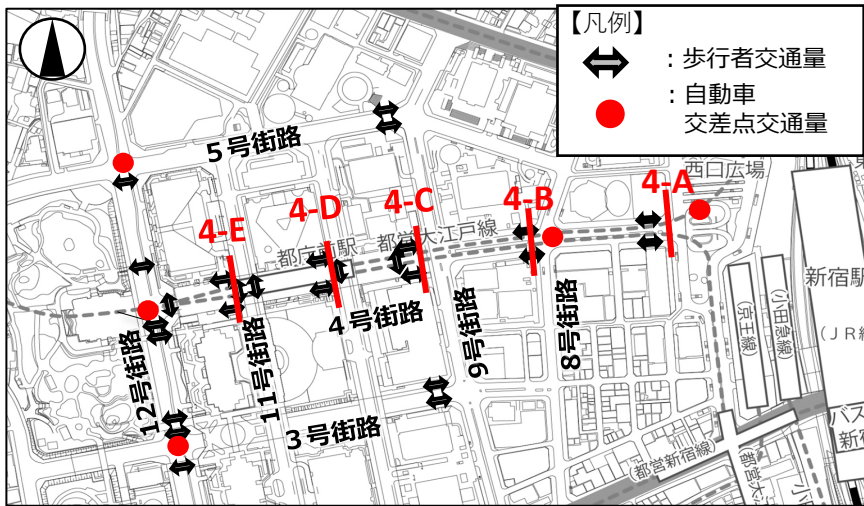
■ 調査概要

4号街路の将来形を仮想的に再現し、周辺交通への影響を検証

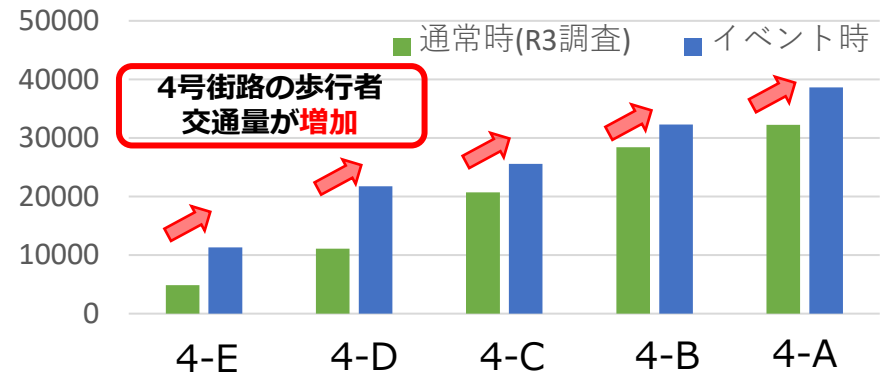
○歩行者交通量調査 2023年10月13日(金)・15日(日) (どちらもイベント時)

○自動車交通量調査 2023年10月13日(金)(イベント時)・27日(金) (通常時)

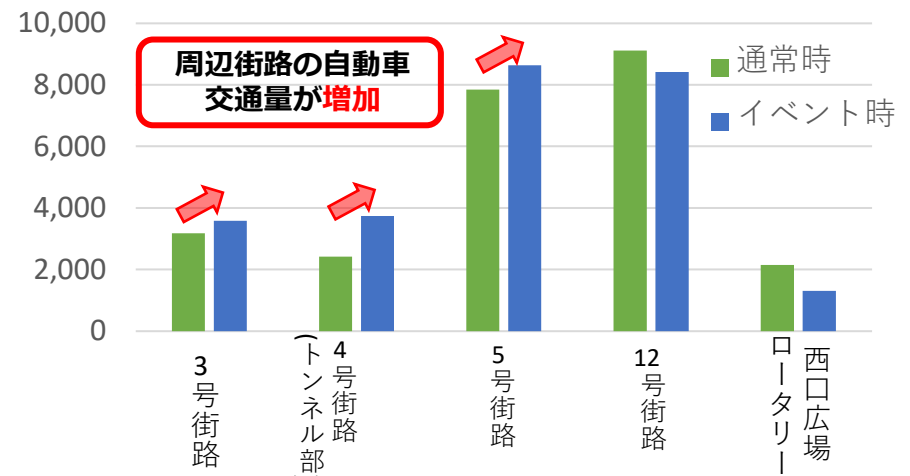
■ 調査箇所図



■ 歩行者交通量(4号街路断面) (通常時とイベント時の比較) 平日



■ 自動車交通量(断面) (通常時とイベント時の比較) 平日



歩行者交通量・自動車交通量ともに、変化はみられるものの、周辺交通に大きな影響はないと考えられる。

今後、交通量推計による将来予測と併せて、定量的・定性的に効果検証を実施し、道路再編の具体化を図っていく。3

② 都民広場の芝生化：モニタリング及びアンケート調査

■ 調査概要

- ファンモアタイム新宿2023の前後期間を含む2023年10月4日から10月20日まで、都民広場に人工芝を敷設し、テーブル・椅子やクッション等を設置した。その際、利用状況のモニタリングや利用者アンケート等を行った。

■ モニタリング結果 (抜粋)

- クッションを利用しながら、1~3歳ほどの子供を近くで遊ばせている親子の姿が見られた。
- ステージ上でのアカペラライブを様々な姿勢で寛ぎながら鑑賞する様子が見られた。
- 大きな旗を振りながら踊るよさこいステージは迫力があり、広場上でも一緒に踊る人たちの姿が多く見られた。



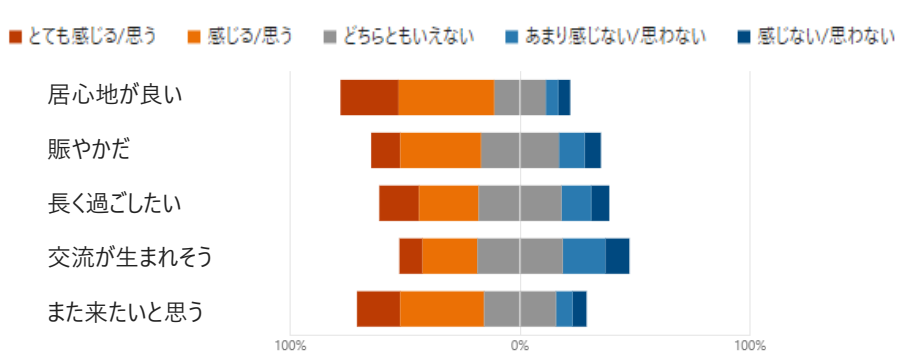
■ アンケート結果 (抜粋)

○対象者 都民広場に訪れてアンケート用QRコードを読み取りした人

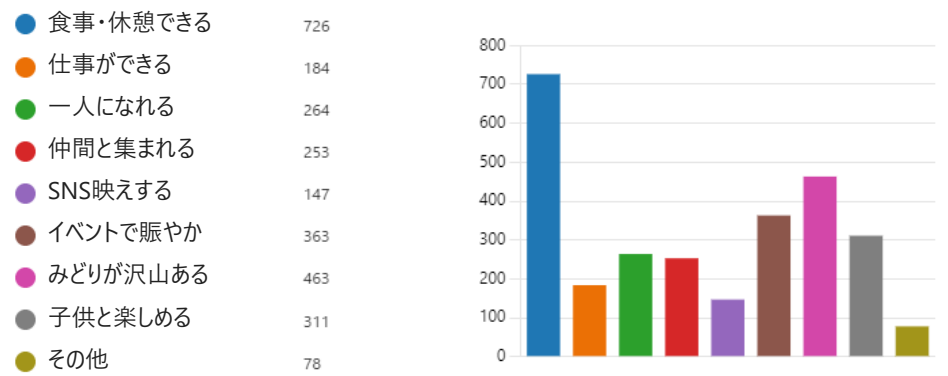
○実施期間 10/11(水)~10/26(木) ※英語版は10/15(日)~10/26(木)

○回答数 1,002件 (日本語版936件、英語版12件)

設問11. 今日の都民広場の印象を教えてください



設問13. 将来、都民広場がどのような場所になると良いと思いますか (複数選択可能)



○ 「居心地の良さ」「また来たいと思う」「長く過ごしたい」など、芝生化によりポジティブな印象を持つ人が多い。

○ 将来的な都民広場の姿として、「食事・休憩できる」場所になることが特に求められている。

→ 上記検証結果を都庁周辺の空間再編の検討にフィードバックした。

③ 「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査

■ 調査概要

●利用者アンケート実施方法

国交省「まちなかの居心地の良さを測る指標」による居心地の良さ4要素（『寛容性』『期待感』『安らぎ感』『安心感』）の評価項目に基づいて実施。

●回答総数 合計 439件（10/13(金) 267件、10/15(日) 172件）

●属性 男性 241人、女性 198人 ※対象はイベント参加者

●来場目的 平日：たまたま立ち寄った（56%）
休日：イベントへの興味・その他 ※口コミ等（54%）

●来訪元 平日：西新宿の勤務者（37%）・来街者（35%）
休日：来街者（66%）・西新宿周辺居住者（23%）

●滞在時間 平日：1時間未満（66%）
休日：1時間程度（44%）

●イベント周知 平日：通りがかりが過半（56%）
休日：口コミの割合が平日より多い（友人（13%）、SNS（8%）、その他（12%））

○平日・休日で来街者層が大きく変わる

○オフィスワーカーや来街者へのイベント告知が重要

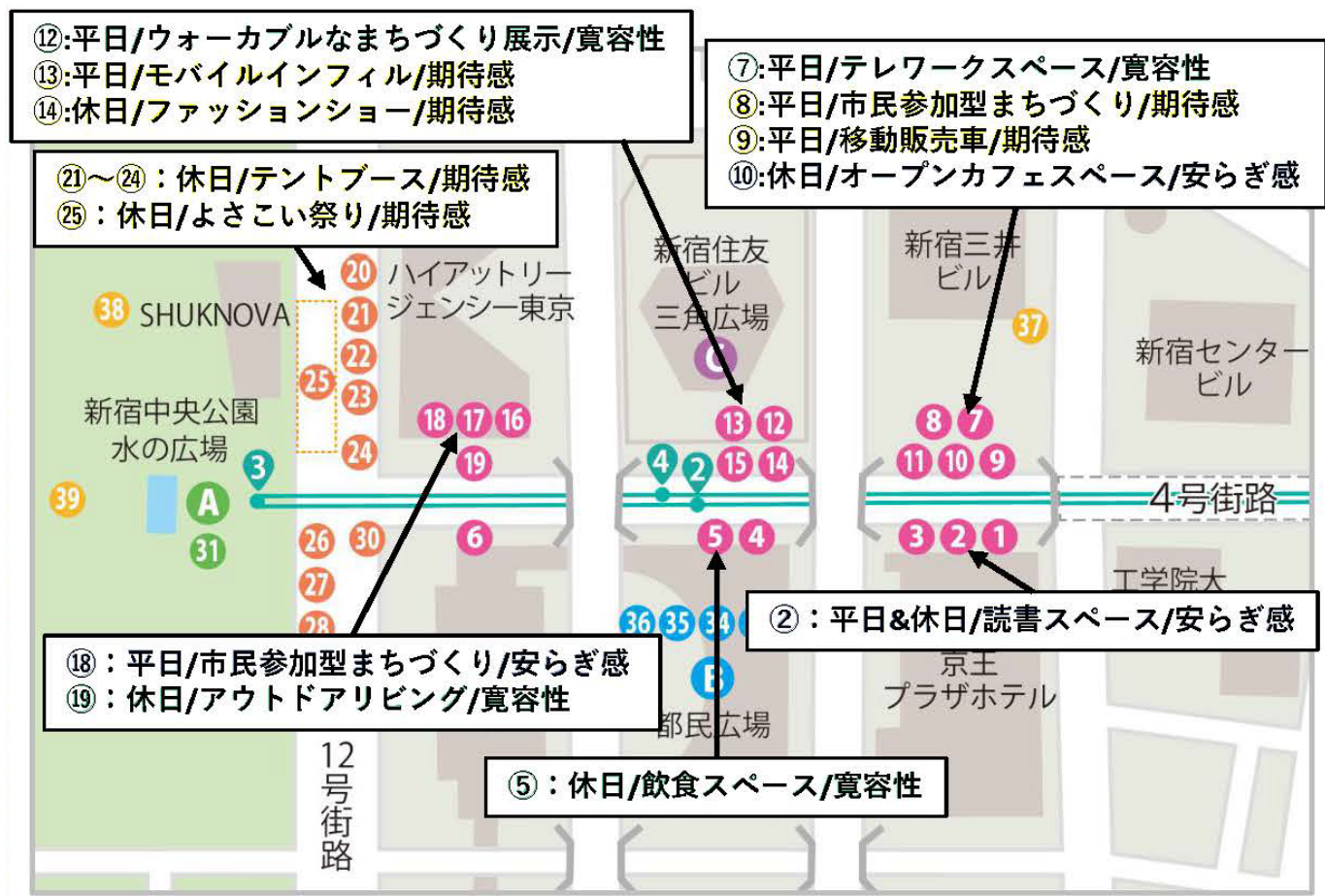
○魅力的なイベント開催があれば休日の集客が期待できるエリア

③ 「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査

●居心地の良さを測る要素に対応した調査場所




※「安心感」は全コンテンツに共通して必要な要素であるため、全箇所で調査



③ 「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査

● 評価

	平日	休日
寛容性	<p>・ 気軽に利用できる場所だと感じるとの回答が多いため、将来歩道上に机椅子等の配置を行い、<u>オフィスワーカーの滞在を促進する仕掛けづくりへの需要は高い</u>と考える。</p> <p>ウォークアブルなまちづくり展示・ワークスペース (住友ビル前、三井ビル前)</p>	<p>・ アウトドア系や飲食系については、周辺の居住者の来訪が多く見込まれるため、<u>休日に限り、物販飲食系を設けても、ある程度の需要が見込まれるもの</u>と考える。</p> <p>アウトドアリビング・飲食スペース (ハイアット前、議会棟前)</p>
期待感	<p>・ <u>体験型や販売型のイベントについては期待感が高く、オフィスワーカー向けの新しい需要が想定される。</u></p> <p>移動販売車・市民参加型まちづくり・モバイルインフィル (三井ビル前、住友ビル前)</p>	<p>・ 休日のイベントは、年齢性別に偏りなく来訪者総意として期待に関する評価が高い。そのため、<u>休日に公共空間を活用してのイベントは需要が高い。</u></p> <p>テントブース・ファッションショー・よさこい祭り (12号街路、住友ビル前、都民広場)</p>
安らぎ感	<p>・ 座ってくつろぐ場所への期待値が高いため、将来的に空間整備をすることで、<u>街なかへ一定の賑わいを見込むことが期待できる。</u></p> <p>市民参加型まちづくり・読書スペース (ハイアット前、京プラ前)</p>	<p>・ 平日に近似した利用者の意向が見込まれているため、やすらぎ感のある空間整備することで、街なかへ一定の賑わいを見込むことが期待できる。</p> <p>オープンカフェスペース・読書スペース (三井ビル前、京プラ前)</p>


 今後もファンモアタイム新宿（社会実験）を継続し、再整備方針の実現を目指す。